

学道一如

発行
小樽双葉高校
新聞部
2026年6月30日
第20号

第61回双葉祭「快青」 7月3日・4日

最高の思い出を作ろう

今年のテーマは「快青」です。「快晴」と「青春」を掛け合わせ、晴れた空のように明るく爽やかな青春を双葉祭でみんなと一緒に創り上げたいという思いを込めました。この日のために生徒全員が協力しながら準備を重ねてきました。来てくださるみなさんにも生徒たちの頑張りが双葉祭ならではの活気を感じながら思い切り楽しんでもらいたらうれしいです。

みんなで最高の思い出を作り、笑顔あふれる双葉祭にしましょう！

学校祭実行委員長
清松瑚々夏



ポスターは美術部コラボ作品

今回の双葉祭ポスターは、テーマである「快青」から快晴の雲一つない青い空と雲を切り分け、小樽へ向かう快速に駆ける青い列車を描きました。列車には車掌ロボットと人を配置し、双葉を中心になるように描きました。以下、坂東元が制作過程を報告します。

佐藤岳人くん(2-2)



坂東 元(2-2)

黒島那月さん(2-1)

細部のこだわり 部員2人からは、ロボットを配置すること、下部に雲を設置し、太陽の光から生まれるレンズフレアを入れるという案、手でメガネを示し、それが種となって双葉が生まれるという案が出たため、ロボットを車掌室の窓から見えるようにし、最後尾の扉から乗り出すかたちで、もう一人を配置。双葉を入れる案を取り入れました。ポスター下部には雲を配置。列

車が切り分けて奥の小樽へ進むようにし、右上に太陽のレンズフレアを発生させ、夏の暑さを表現しました。列車の見本は『ブルートレイン』であり、客車は国鉄14系客車。左の雲の上にいる機関車がD51形ディーゼル機関車です。この列車を採用した理由として、青いことは勿論のこと、今から10年前に北海道新幹線が開業しましたが、同時に寝台特急が廃止されました。そのため、今年が寝台特急廃止から10年目の節目ということを考え、『ブルートレイン』を描くことにしました。本来ヘッドマークには、それぞれの列車名

隣の茶 第2回突撃茶会

「突撃！隣の○○部」第二弾は茶道部です。副部長の服部梅さんにお話を伺いました。

茶道部の良いところは？

「先生が優しく、気楽にやっている。お茶が飲めて、お茶菓子が美味しいところです。茶道の魅力は何ですか？」

「歴史や作法を学べるところです。」



副部長はこんな人！

名前 服部梅さん (3-1)

好きな教科 生物

趣味 曲を聴くこと、寝ること

好きな食べ物 オムライス、クリームパスタ、マンゴー

手放せない物 犬

好きなアーティスト アリアナ・グランデ

小樽で好きなところ 建物に歴史を感じるところ

尊敬している人 お姉ちゃん(普段はお姉ちゃんだけけど勉強のときには凄く真面目で切り替えているから)

好きな先生 宮原先生、後藤先生、西川先生、北村先生

入部した理由 どの部活に入るか迷ったけど茶道部が一番面白そうだったから。

最後に一言 学校祭一般公開の日にお茶会があるので是非いらしてください。



取材日のお茶菓子「水無月」

人気のお菓子は？
「お干菓子や生菓子など和菓子」

今後の活動目標は？
「学校祭のお茶会を滞りなく終えることです。」

活動で大切にしているものは？
「作法と部員とのコミュニケーションを大切にしています。」

茶道部が発行している新聞

やイラストが入った幕を描くべきなのですが、ポスターでは白幕としました。これは、皆さんに自分のヘッドマークを想像してほしいという考えから、このような描き方をしました。左上の『快青』の文字は、14系客車の側面にある種別幕を近くから見たイメージで描きました。

部員力を結集 今年のポスター制作は、私も初めての経験であり、どんな絵を描くべきなのか悩みました。そのため、部員から案を出してもらい、それを取り込む形で完成させることができました。やはり他人から意見を聞くと、自分が思い付かなかったことを発見することができ、最初は面白かったのですが、去年は前任の美術部部長が制作し、テーマは『青瞬』であり、今年も去年に引き続き『青』の文字が入るテーマだったので、絵のまとまり具合や構図、技術など個人的に昨年のポスターを超えることはできなかったと思います。来年のポスターに携われるかはわかりませんが、今回のポスターを超える作品を作れるように、前もってどんな作品にしたいかを考えて、余裕をもって制作していきたいです。

(坂東 元)